

研究課題 (テーマ)	360度動画を活用した術後管理シミュレーション教育の効果検証		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部	教授	城戸口 親史
分担者	看護学部	講師	大西 陽子
	看護学部	講師	寺内 英真
	看護学部	助教	竹口 将志
	看護学部	准教授	河相 てる美
	富山県厚生農業協同組合連 合会高岡病院	看護師	寺井 彩
	石川県立看護大学	教授	松本 勝
研究結果の概要			
<p>【背景・目的】</p> <p>入院期間の短縮化が進む中、成人急性期の臨地実習では手術直後の患者観察は重要な学習の機会であり、学生が実習の場で手術直後の観察が実践できることは有益なものである。この学習機会を生かすために学内演習において知識・技術を習得できることが求められる。現在、看護学生のシミュレーション教育は、様々な場面で導入され始めており、本学部においても手術室看護のVR教育を行っている。しかし、VRゴーグルを使用する場合は、コンテンツ構築を含め高額機器が必要になり、広く普及するには初期費用が掛かる問題も指摘されている。</p> <p>そこで、VRコンテンツの欠点を補い、タブレット端末を用いた360度動画視聴を活用したコンテンツ開発を行い、学部教育の充実を図ることを目的とした。</p> <p>【方法】</p> <p>臨床における腹腔鏡下胃切除術後患者の観察場面の動画を撮影し、術後の観察場面に絞った動画となるように編集する。実践する看護師から意見をもらい、動画修正を行い教材とする。</p> <p>対象を実際の患者とするため、倫理審査に時間を要したため、動画撮影までに至らなかった。</p>			
今後の展開			
対象患者、撮影看護師に対する配慮をより詳細にし、倫理的問題が解決できるよう配慮して、動画作成を進めていく。			